

8月9日 長崎に原爆が投下されて80年

**ノー・モア・ヒロシマ**

**ノー・モア・ナガサキ**

**ノー・モア・ウォー**

**ノー・モア・ヒバクシャ**

8月9日、長崎に原爆が投下されて80年が経過しました。平和祈念式典で、長崎市の鈴木市長は、「平和宣言」の中で、「人類存亡に危機が、地球で暮らす私たち一人ひとりに、差し迫っている」と危惧し、「武力には武力を」の争いを今すぐやめてください」「このままでは、核戦争に突き進んでしまう」と原爆投下から80年経った現代社会に警告を鳴らしました。また、各国リーダーに対して「核抑止力に頼らない安全保障政策への転換」を呼びかけました。

そして、日本政府に対して「被爆者の援護のさらなる充実と、未だ被爆者として認められていない被爆体験者の一刻も早い救済」を強く要請しました。

「平和な世界」を次代へつなぐために、  
今を生きる私たち1人ひとりが考え、行動しよう！